

グレーダムの名称について

これまで河川工作物WG及びAP会議では、「改良すればサケ科魚類の生息環境等の改善が図られる可能性があるものの、改良に伴う防災機能等への全体的な影響が大きいため、「現状維持」と評価した河川工作物」をグレーダムと称していたが、次の名称とすることをしたい。

第2次検討ダム

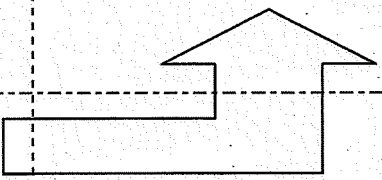
第2次検討ダムの取扱いについて

○ 第2次検討ダムにあたっては、8河川35基について、

- ① ワーキンググループの影響評価結果について、平成26年度中を目途に、現時点でレビューを行い、改修等に伴う防災機能、保全対象の状況、河川周辺の生態系への全体的な影響からみて、改修可能で改良の必要性が高いものについて具体的な検討を行う。
- ② ①と併行し、①のレビューを待たずに、これまで13基の改良結果及びWT評価結果を踏まえ、同様の工法により科学的な検証が可能で、改修可能で改良の必要性の高い河川を抽出し、そのうちの数基について先行的な改良の検討を行う。

○ 第2次検討ダムのロードマップ（予定）

- ・今年度については、先行的河川の選定を行う。
- ・次年度については、35基のレビューを開始し、改良対象河川の選定（優先度の格付）を行う。

2013年度 H25	2014年度 H26	2015年度 H27	2016年度以降 H28	備考
	レビュー開始 改良対象河川 の選定 (優先度の格付)	改良工法等の 検討（予定）	改良工事（予定）	
先行的河川の選定	改良工法等の 検討（予定）	改良工事 (予定)		

第2次検討ダムの先行的河川の選定について

改良の検討を行うことが適当と評価した13基の改良結果及びWT評価結果を踏まえ、同様の工法により科学的な検証が可能で、改修可能で改良の必要性の高い河川を抽出し、そのうちの数基について先行的な改良の検討を行うこととする。

○林野庁北海道森林管理局
別紙1

○北海道
別紙2

第 2 次検討ダムの先行的河川の選定について

北海道森林管理局

1 対象河川名

オッカバケ川（羅臼町側） No. 1・No. 2 ダム 2 基
（下流に北海道のダム 1 基（遡上可能）あり）

2 選定の理由

- ・当該河川は、河川延長や流域面積が大きく、サケ科魚類が遡上するうえでのポテンシャルが高い。
- ・カラフトマスは国有林No. 1 ダム直下での産卵が確認されており、改良することにより、上流部へのサケ科魚類の遡上範囲を拡大できる。また、シロザケ、オシヨロコマの生息も確認されている。（2005（H17）年度 小宮山委員調査結果）
- ・これまでの改良結果等を踏まえ、同様の工法により効果が期待できる。

3 当該河川における改良工事の状況等

なし

4 改良検討にあたっての課題等

（1）遡上対象種

- ・サケ科魚類

（2）工法の検討

- ・ダム上流部の滞留土砂量及び土砂生産源が大きいことから、防災機能を低下させず、サケ科魚類の遡上が可能となる工法の選択
- ・ダム上下流域の流路、河床のあり方の検討

（3）その他

- ・受益者（住民、漁業関係者（サケ・マス定置網・コンブ）、道路管理者）の合意形成を得ながら検討していく必要
- ・北海道庁と連携した取組が必要
（シロザケは北海道のダムから上流約70mの自然段差まで遡上が確認されているので、段差解消の検討が必要（北海道ダムから国有林No. 1 ダムまでの区間長は約400 m））

5 その他

上記の課題を抱えている状況にあり、今後、現地検討を含め関係者の助言及び協力等をいただく中で検討していく。

オッカバケ川資料(森林管理局)

治山ダム名	施工年度	構 造				備考
		L (m)	H (m)	B (m)	V (m ³)	
No.1 谷止工	S53(1978)	71.5	4.0	1.0	325.4	鋼製(第2号)
No.2 谷止工	S44(1969)	49.5	4.0	1.0	220.9	鋼製(第1号)



平成 17 年度

河川工作物WG

河 川 : モセカルベツ川 オッカバケ川

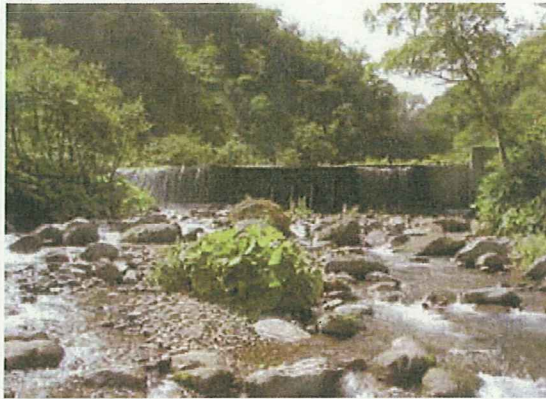
図面名: 保全対象施設

縮尺: 1: 25,000



河川工作物リスト

河川名：	オッカバケ川	設置者：	森林管理局	位置：	N44° 04' 374" E145° 14' 114"
No：	1	設置年度：	1978年	工種：	鋼製谷止工
堤長(m)：	71.5	堤高(m)：	4.8	落差(m)：	4.7
				プール水深(m)：	0.95

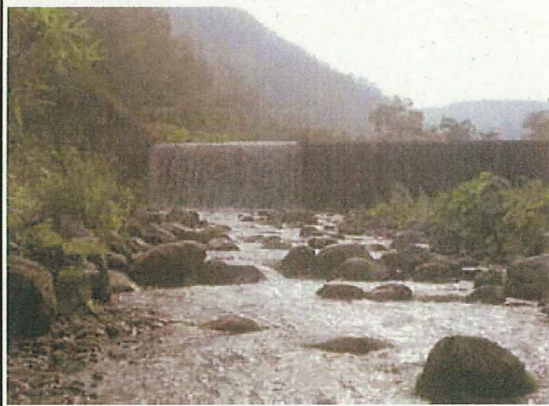


下流より望む。



治山ダム上流の土砂堆砂状況。

河川名：	オッカバケ川	設置者：	森林管理局	位置：	N44° 04' 403" E145° 14' 022"
No：	2	設置年度：	1969年	工種：	鋼製谷止工
堤長(m)：	49.5	堤高(m)：	4.8	落差(m)：	4.32
				プール水深(m)：	0.45



下流より望む。



治山ダム上流の土砂堆砂状況。

No.1ダム



2013.8 撮影

No.2ダム



2013.8 撮影

第2次検討ダムの先行的河川の選定について

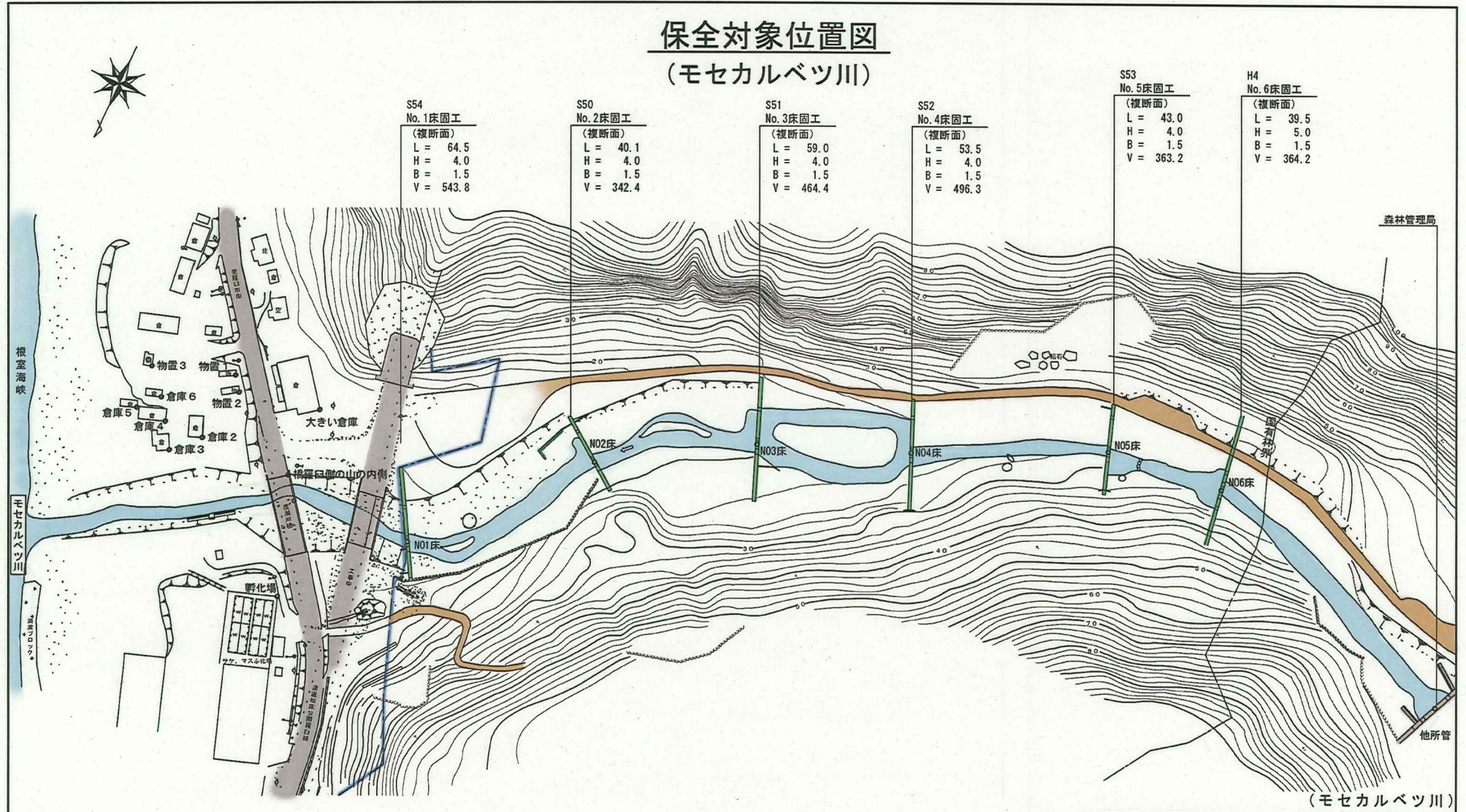
北海道水産林務部林務局治山課

- 1 対象河川名
モセカルベツ川（羅臼町側） No. 1床固工 1基
（上流に床固工5基、森林管理局所管谷止工等6基あり）
- 2 選定の理由
 - ・当該河川は、流路延長や流域面積が大きく、魚類の遡上が確認され、上流部に産卵環境がある。
 - ・民家近くまでヒグマが出没しており、対策を講じる必要がある。
- 3 当該河川における改良工事の状況等
なし
- 4 改良検討にあたっての課題等
 - (1) 遡上対象種
 - ・カラフトマス、シロザケ、オシヨロコマ
 - (2) 工法の検討
 - ・床固工は複断面放水路であるが、さらに落差を小さくし、魚類の遡上を容易にする。
 - ・放水路を拡幅し、滯筋の固定化を解消、産卵環境を拡大する。
 - (3) その他
 - ・住民及び漁協から要望があり、羅臼町より施行要望書が提出されている。
- 5 その他
上記の課題を抱えている状況にあり、今後、現地検討を含め関係者の助言及び協力等をいただく中で検討していく。

モセカルベツ川資料(北海道)

治山ダム名	施工年度	事業名	構 造				備考
			L (m)	H (m)	B (m)	V (m ³)	
No.1 床固工	S54(1979)	予防治山	64.5	4.0	1.5	543.8	
No.2 床固工	S50(1975)	予防治山	40.1	4.0	1.5	342.4	
No.3 床固工	S51(1976)	予防治山	59.0	4.0	1.5	464.0	
No.4 床固工	S52(1977)	予防治山	53.5	4.0	1.5	496.3	
No.5 床固工	S53(1978)	予防治山	43.0	4.0	1.5	363.2	
No.6 床固工	H 4(1992)	復旧治山	39.5	5.0	1.5	364.2	

保全対象位置図 (モセカルベツ川)



S54
No. 1床固工
(複断面)
L = 64.5
H = 4.0
B = 1.5
V = 543.8

S50
No. 2床固工
(複断面)
L = 40.1
H = 4.0
B = 1.5
V = 342.4

S51
No. 3床固工
(複断面)
L = 59.0
H = 4.0
B = 1.5
V = 464.4

S52
No. 4床固工
(複断面)
L = 53.5
H = 4.0
B = 1.5
V = 496.3

S53
No. 5床固工
(複断面)
L = 43.0
H = 4.0
B = 1.5
V = 363.2

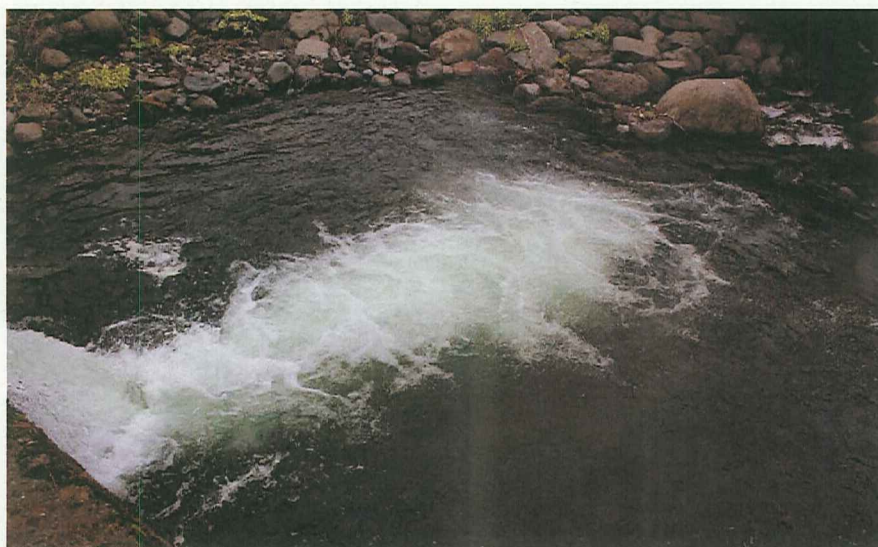
H4
No. 6床固工
(複断面)
L = 39.5
H = 5.0
B = 1.5
V = 364.2

年度	平成	年度
名称	平面図	
施行地	北海道目梨郡羅臼町	
事業細目	小規模治山事業	
事業所名	北海道 根室支庁	
図面番号	縮尺	1:2,500

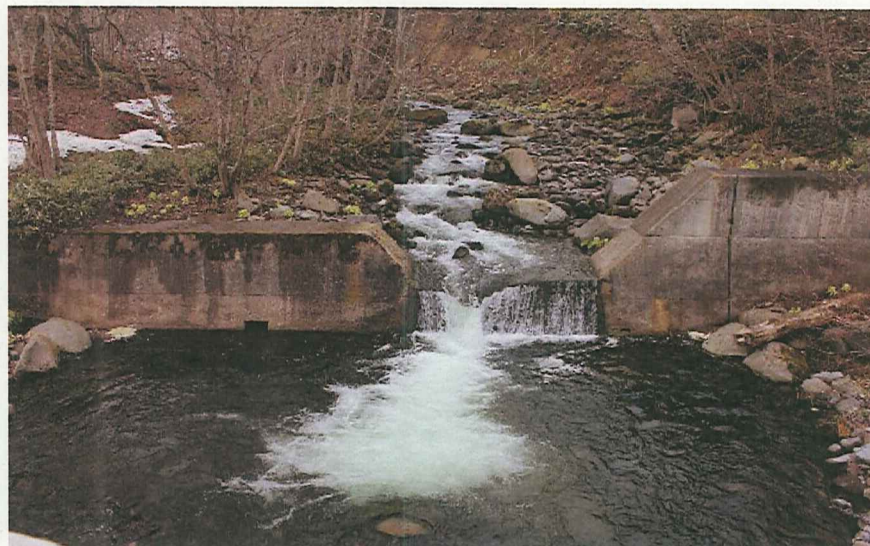
No. 1 床固工 (昭和54年施工)



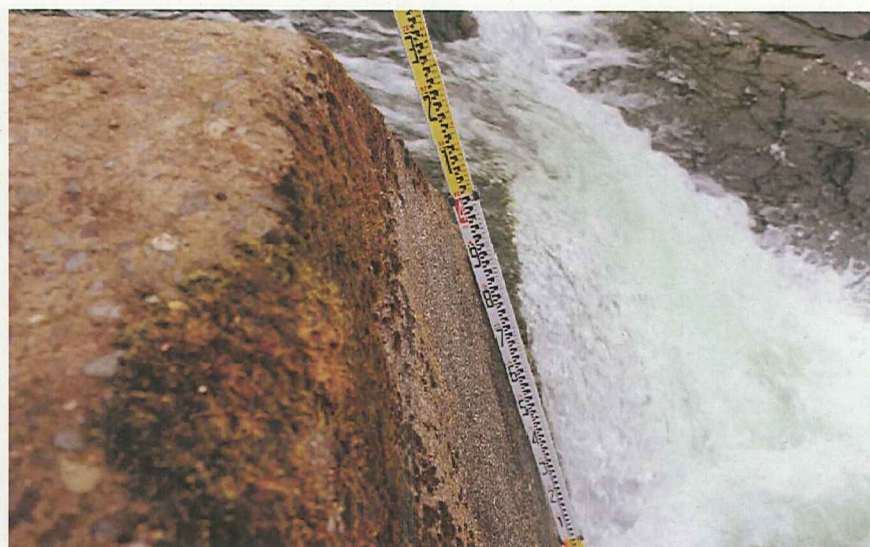
ダム下流洗掘状況



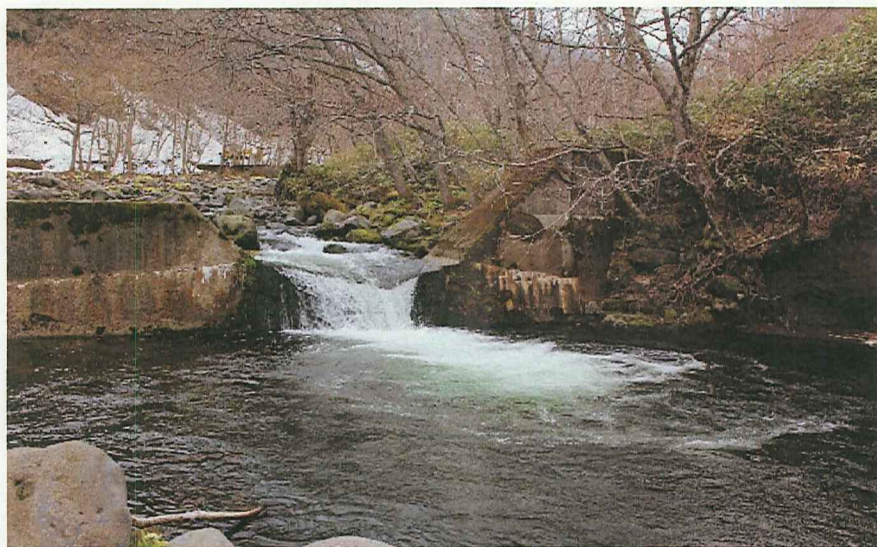
No. 1 床固工 (昭和54年施工)



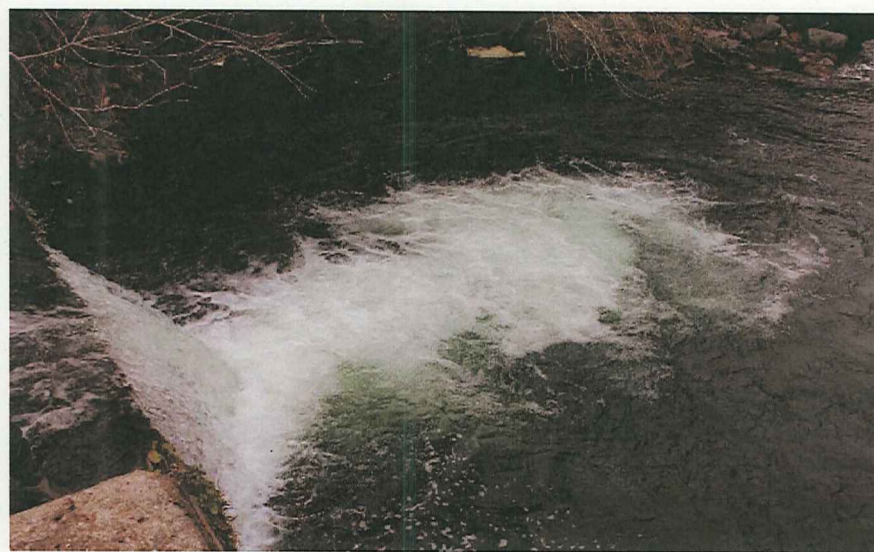
複断面放水路より3.80m洗掘



No. 2 床固工 (昭和50年施工)



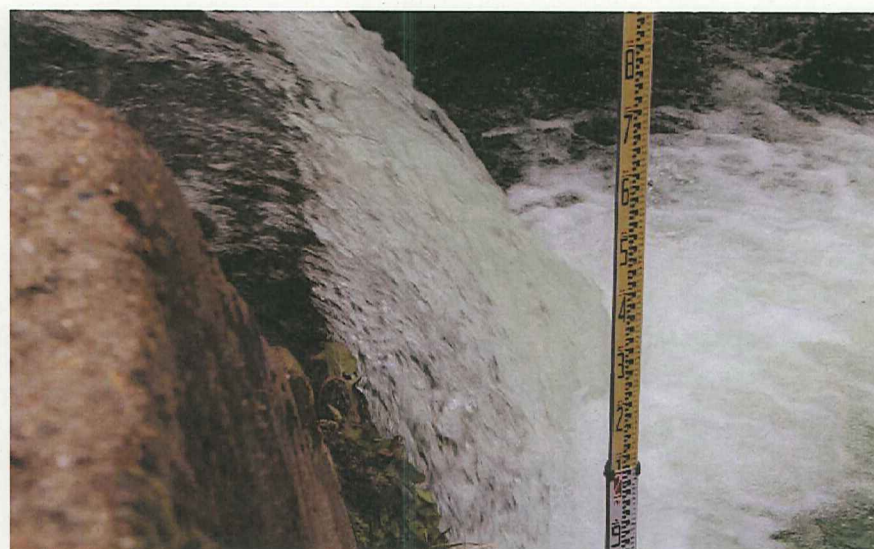
下流側 洗掘状況



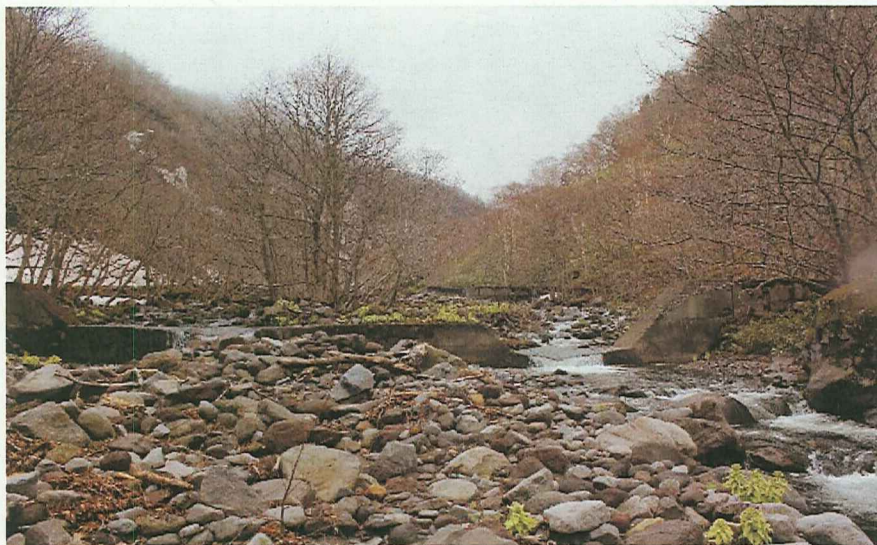
複断面放水路より2.50m洗掘



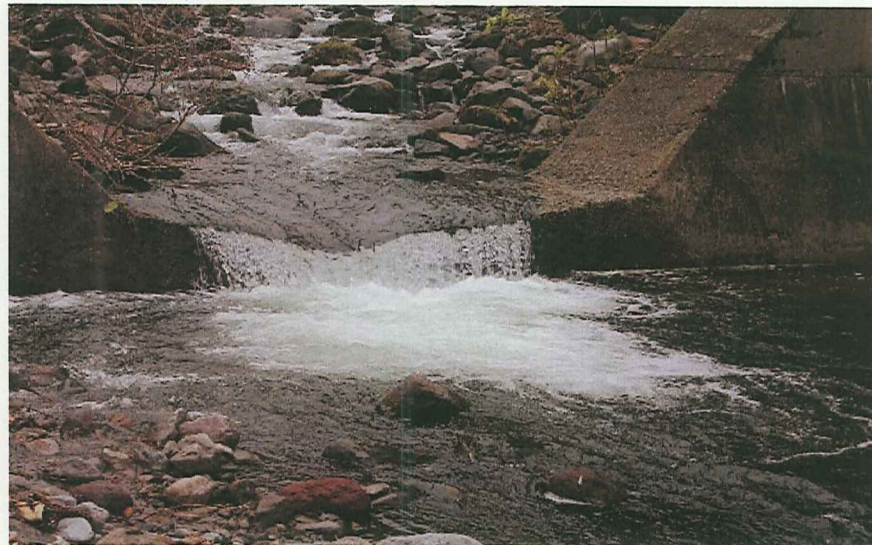
洗掘状況



No. 3 床固工 (昭和51年施工)



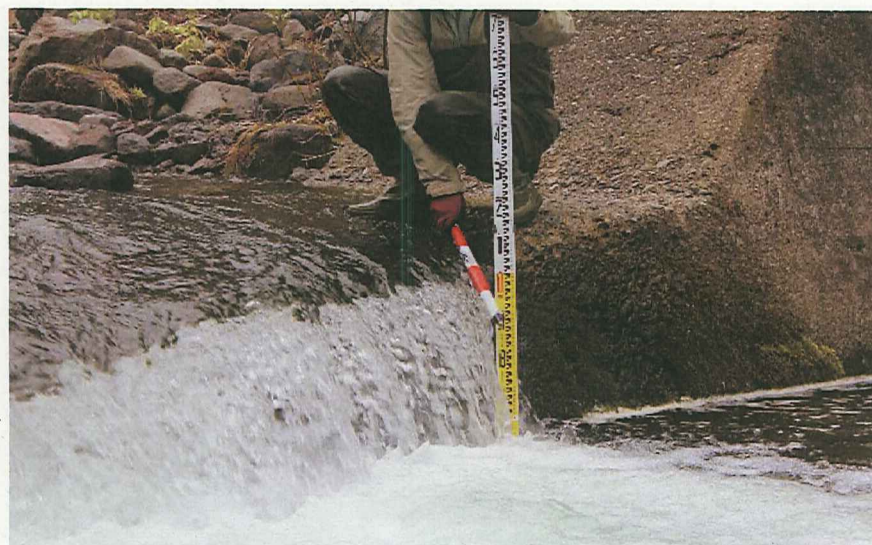
下流側 洗掘状況



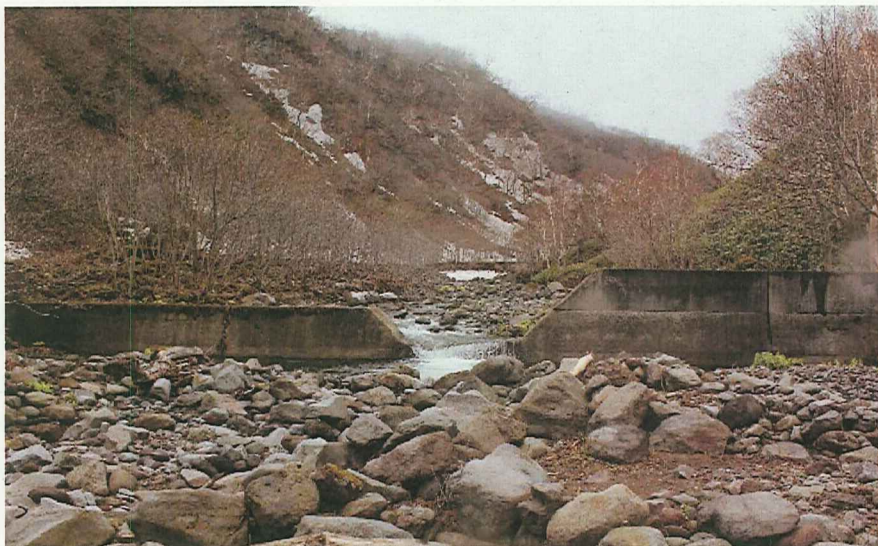
複断面放水路より0.90m洗掘



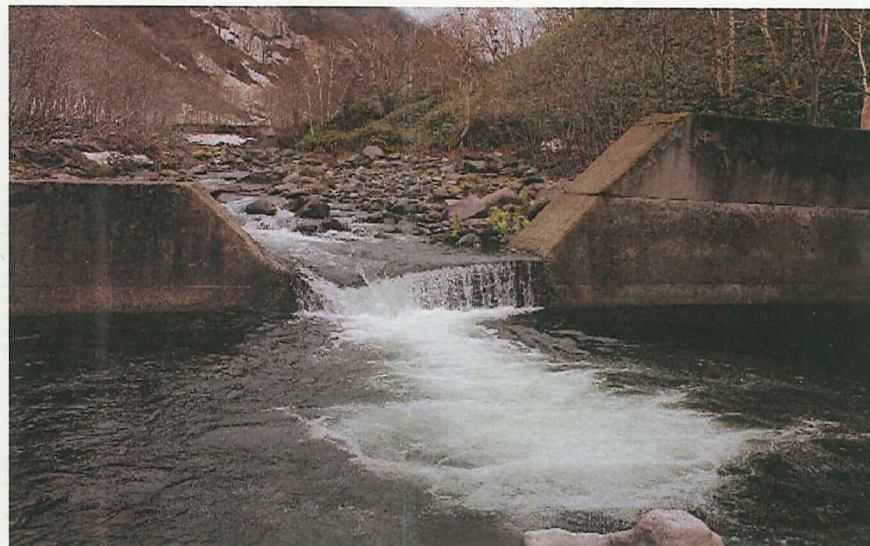
洗掘状況



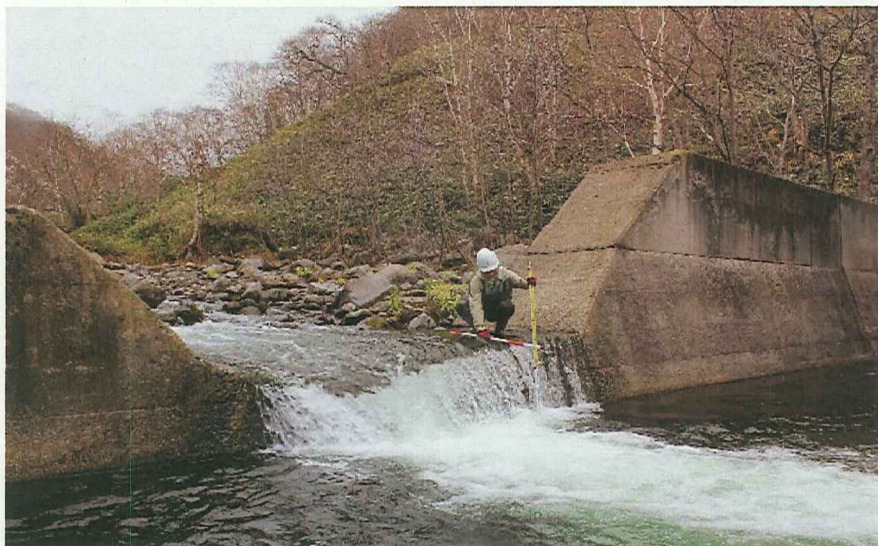
No. 4 床固工 (昭和52年施工)



下流側 洗掘状況



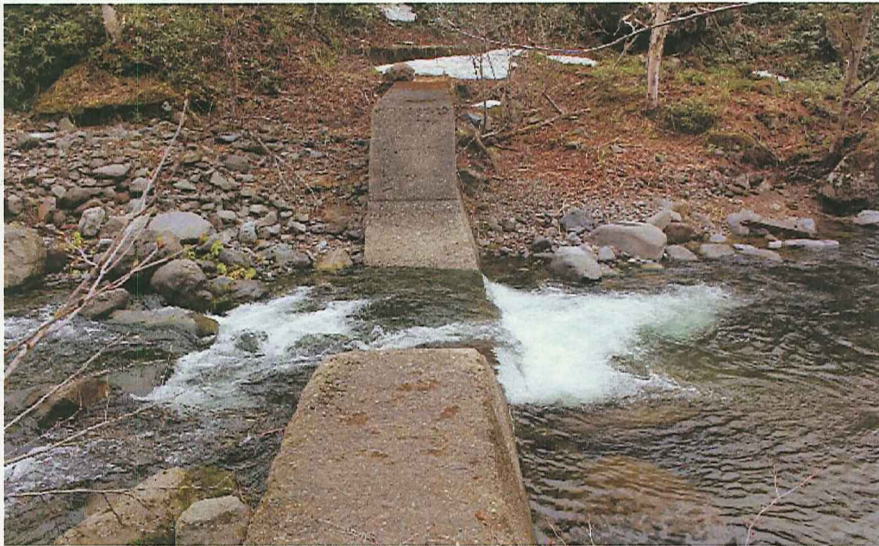
複断面放水路より2.20m洗掘



洗掘状況



No. 5 床固工 (昭和53年施工)



下流側 洗掘状況



複断面放水路より1.00m洗掘



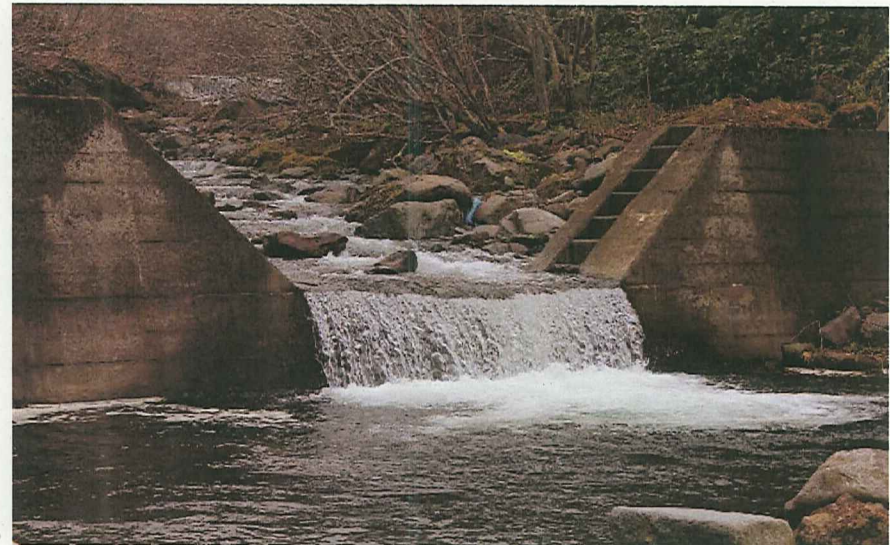
上流状況



No. 6 床固工 (平成4年施工)



下流側 洗掘状況



複断面放水路より1.60m洗掘



上流状況

